

シンポジウム

Well-beingと未来世紀都市学

—レジリエント社会をめざした
ヒューマン・ネットワークの構築—

開催日時

令和2(2020)年2月6日(木)

14時00分～16時30分

場所

神戸大学瀧川記念学術交流会館「大会議室」

参加費無料

事前申込不要

2020年1月17日、阪神淡路大震災から25年を迎えます。神戸大学では、震災を契機に防災・減災に係る学際研究を進め、現在、百年後まで持続可能な都市をつくるための研究として、学術領域「未来世紀都市学」の開拓に取り組んでいます。

レジリエント(しなやか)でサステナブル(持続可能)な未来世紀都市像を具体化するためには、ハード・ソフト両面からのアプローチが必要となります。

2018年4月から「未来世紀都市学」の新たな部門として「Well-being 研究拠点」拠点が加わり、未来世紀都市を支える多様な人々の Well-being(人々の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活)を実現するための研究を行っています。

今回、「Well-being と未来世紀都市学—レジリエント社会をめざしたヒューマン・ネットワークの構築—」というテーマのもと、日々の生活、あるいは災害時・災害後の人々の繋がりや人々への支援について議論を深めたいと思います。

【コーディネーター】

近藤 徳彦

(神戸大学大学院人間発達環境学研究所 教授)

和泉 比佐子

(神戸大学大学院保健学研究所 教授)

講演

高齢期の Well-being と
人とのつながり

増本 康平

神戸大学大学院人間発達環境学研究所
人間発達専攻 准教授

地域資源と科学技術による
減災・見守り

稲場 圭信

大阪大学大学院人間科学研究科
共生学系 教授

災害後の人々への支援
～人と人とのつながり～

千葉 理恵

神戸大学大学院保健学研究所
看護学領域 教授

2つの震災から学んだ
今後の災害への備え
～心のケアの視点から～

瀬藤 乃理子

福島県立医科大学
災害こころの医学講座 准教授

主催

神戸大学未来世紀都市学研究ユニット「Well-being 研究拠点」
神戸大学大学院人間発達環境学研究所「発達支援インスティテュート」
神戸大学大学院保健学研究所「アジア健康科学フロンティアセンター」

連絡先

神戸大学人間発達環境学研究所
岡田研究室
shuokada@kobe-u.ac.jp